

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1		22	香川県と協議をおこない、指導訓練室や遊戯室など法令で定められた基準以上のスペースを確保しております。		
	2		22	法律の定められた配置数以上の職員数を配置しております。		
	3		22	室内は段差がない造りになっており、各部屋の表示も絵と文字を使って児童にわかりやすく工夫しております。出入口の段差については職員が付き添い、安全に出入りできるよう見守りをおこなっております。		
	4		22	室内は採光が多く、常に明るい環境になっております。療育スペースと余暇スペースを分け、児童が活動によって切り替えられるようになっています。毎日の掃除・消毒を欠かさずおこなっており、清潔で快適な環境づくりに努めております。		
	5		22	完全個室としては相談室や医務室がありますので、必要に応じて利用できるようにしております。		
業務改善	6		22	毎月フレクシオン会議を実施し、振り返りをおこないながら業務改善や情報共有に努めております。会議の内容は記録し、当日参加できていない職員が確認したり、あとから振り返ることができるようにしております。		
	7		22	年に1度、保護者様にアンケートにご協力いただき、いただいたご意見・ご意向を職員間で協議・検討し、改善に努めております。		
	8		22	定期的に職員との面談をおこなったり、日々の業務に対する気付きや情報を伝えやすい環境づくりに努めております。職員間の連絡ノートも情報共有に活用しております。		
	9		13	9	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10		22	事業所内にて、本社配信の動画による社内研修に全職員が参加し、資質向上に努めております。		
適切な支援の提供	11		22	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	
	12		22	6か月ごとに丁寧にアセスメントをおこないながら、発達状況や課題を明確にし、支援計画に反映できるよう心がけております。		
	13		22	児童の様子を職員間で共有しながら現状を把握し、モニタリングやアセスメントの情報を共有し、適切な計画になるよう努めております。		
	14		22	支援計画作成後は、会議に参加できていない職員にも確認してもらい、計画に沿った療育活動ができるよう努めております。		
	15		22	社内共通様式のアセスメントシートを使用し、言語面・社会性・身辺自立についてなど、細かく聞き取りを行い、保護者様のご意向や目標課題など設定し、支援計画に反映できるよう努めております。		
	16		22	支援計画はガイドラインに基づいて、「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域連携」の4領域に対する目標を細かく設定し、具体的な支援内容を設定するよう努めております。		
	17		22	児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員・理学療法士・作業療法士それぞれ視点で、児童に対して最適な活動プログラムとなるよう立案し、検討・振り返りをおこない、職員間で共有しております。		
	18		22	活動には随時手作りの教材を導入し、指先を使う目標に対しても、いろいろな教材を使って、楽しみながら取り組めるようにしております。		
	19		22	個別の療育のほかにも複数療育も積極的に取り入れたり、余暇場面では手遊びや紙芝居などの集団活動も取り入れるようにしております。		
	20		22	支援前の全員での打ち合わせは難しいですが、一日の役割分担を設定しておりますので、職員各自で確認し、疑問点などは都度解消しながら、連携して支援に努めております。		
関係機関や保護者様との連携	21		21	1	利用児童の様子は共有し、気づいた点や以降の支援に関することは、その日不在の職員にも共有するよう、連絡ノートや伝言板を使い、共有しております。また、支援で困ることがある時は職員間で相談し、より良い支援が継続しておこなえるよう努めております。	職員全員での打ち合わせは難しいですが、気付きは全職員で共有・把握し、次の支援に活かせるよう連携してまいります。
	22		22	療育時の様子については必ず記録を残し、振り返り、次の支援につなげられるように活かしております。		
	23		22	6か月ごとにモニタリングをおこない、児童の現状に合わせて、適切な計画になるよう見直し・作成しております。		
	24		22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その児童の状況をよく理解した者が参加している。	サービス担当者会議には基本的に児童発達支援管理責任者が出席しますが、事前に職員間で児童の様子を確認し、会議後に情報を共有しております。	
	25		22	事業所の前におある、もりもとこどもクリニック様と協力医療機関として連携し、年2回の内科検診を実施しております。各市町村とも適宜連携を取りながら支援に努めております。		
	26		22	事業所を併用されている方については、必要に応じて情報交換や連携をおこなっております。各園とも適宜関係機関連携の機会を持ち、支援内容や園・家庭での様子を共有し、同じ方向性で支援できるよう努めております。		
	27		22	就学時には、ご要望に応じてCOMPASSでの支援内容を学校に伝えております。適宜担当者会議や関係機関連携の機会を設け、情報共有に努めてまいります。		
	28		22	地域の通所支援事業所等とも適宜連携を図っております。	地域全体の質の向上に向け、今後は地域との関わりを密にし、児童発達支援センターとしての役割を果たせるよう努めてまいります。	
	29		22	事業所内では作業療法士・理学療法士の助言を常時受けられる環境にあります。	外部研修にも積極的に参加し、研修内容を職員間で共有できるよう努めております。	
	30		17	5	こども部会へ参加することはありましたが、継続的な参加はできておりません。	児童発達支援センターとして、自立支援協議会をはじめ、地域との連携を強化し、役割を果たしていけるよう努めてまいります。
保護者様への説明責任等	31		22	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けています。		
	32		21	1	地域の各園から利用いただいております。連携を図りながら支援に努めております。	現時点では、事業所として園との交流機会は設けられておりませんが、ご要望があれば検討してまいります。
	33		22	連絡帳や送迎時に児童の様子をお伝えし、ご家庭や園での様子を伺いながら情報を共有し、現状に対する共通理解を図っております。		
	34		19	3	事業所での療育だけでなく、ご家庭での過ごし方に関するお困りごとにも寄り添い、共に解決策を模索しております。	事業所からのペアレントトレーニングは具体的に実施できておりませんが、ご要望があれば機会を設け、情報提供ができるよう努めてまいります。
	35		22	半年ごとのモニタリングだけでなく、保護者様とお会いする機会を大切に、現状のお困りごとを真摯に受け止め、解決に向けて取り組んでおります。		
	36		22	支援計画作成時には、丁寧にアセスメントをおこない、日常生活の様子を細かく聞き取りながら、課題を確認し、保護者様のニーズを計画に反映できるよう努めてまいります。		
	37		22	立案した計画は、保護者様と読み合わせ、課題や目標、支援方法を確認し、同意をいただいております。		
	38		22	現時点では、保護者会や父母の会などの交流機会は設けておりません。	保護者様同士の交流機会についても、ご要望があれば検討してまいります。	
	39		22	保護者様からのご相談や苦情は、窓口を設置し、ご契約時にご案内しております。申し入れには迅速・適切に対応しております。		
	40		22	定期的にCOMPASSだよりを発行し、公式ウェブサイトやYouTubeで療育の様子を発信しております。		
非常時等の対応	41		22	個人情報に関する書類は鍵付き書庫で保管し、取り扱いには厳重に配慮しております。		
	42		22	児童には目線を合わせ、わかりやすい言葉で簡潔に伝えるようにし、保護者様へも必要に応じて電話や対面での連絡を取り、情報共有に努めております。		
	43		17	5	現時点で、事業所の行事に地域の方をお招きすることはできておりません。	今後、児童発達支援センターとして、地域に根ざし、地域の方との交流機会を設けられるよう検討してまいります。
	44		22	各マニュアルを作成し、従業員に周知するとともに、事業所玄関に掲示し、保護者様にもご覧いただけるようにしております。研修・訓練をおこない、発生に備えております。		
	45		22	業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っている。	業務継続計画を策定し、備蓄の見直しや避難訓練を定期的実施し、災害に備えております。	
	46		22	ご契約時に丁寧にアセスメントをおこない、持病や服薬状況を把握し、てんかん等の内容は職員間で共有・確認しております。		
	47		22	アレルギーについてもアセスメント時に確認し、職員間で共有しております。事業所内でおやつ提供はしていませんが、医師の指示書に基づく対応はできております。		
	48		22	安全計画を作成し、事業所内の環境整備、備品備蓄の確保、マニュアルの見直しをおこない、避難訓練も定期的実施し、安全管理に努めております。		
	49		22	保護者様にはマニュアルをご覧いただき、緊急時の連絡先も定期的に確認し、連携を図っております。避難訓練の様子は事業所内にて掲載し、情報発信をおこなっております。		
	50		22	事業については職員間で共有し、報告書にまとめ、ご契約時に共有し、振り返りができるようにし、再発防止に努めております。		
51		22	全従業員が研修を受講し、虐待防止の理解と意識向上に努めております。外部研修にも積極的に参加してまいります。			
52		22	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	身体拘束に関する研修も全従業員が受講し、意識向上に努めております。基本的に拘束はございませんが、ご契約時にやむを得ない場合に身体拘束についてご説明し、ご理解をいただいたうえで、個別支援計画に記載しております。		

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。